

平成30年度 青森県支部全体研修会 アンケートのまとめ

9名提出

日 時 平成30年6月16日（土）
演 題 「アセスメントの基本」
講 師 弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 先生

1. 本日の研修についてのご感想、ご意見をお聞かせください。

- ・アセスメントについて、いろいろな種類があり、目的に合わせていろいろな活用ができることが学べて勉強になりました。
- ・アセスメントは支援に活用されて意味がある、と毎回小玉先生の講座で聞いているのですが、実行して反省して、また実行して、を繰り返す大切さを再び確認できました。ありがとうございました。自分のできる中で、いろいろやっていきたいと思えます。
- ・アセスメントの種類について、それぞれのテストの特徴など、わかっていたつもりでも、改めてどのように活用できるのかがわかる貴重なお話でした。新しいアセスメント（社会性）などの情報も知ることができ、興味をもちました。
- ・アセスメントの結果をどのように活用するか、具体的に聞けたのが役に立ちました。
- ・多くのアセスメントツールを紹介していただき、ありがとうございました。客観的にとらえることは、その子にかかわる人たちの理解につながるものだと思いますので、有効的に活用し、先生方全体の支援力アップにつながることを大切と思えました。
- ・アセスメントの意味がよく理解できていない先生が多い。調査してその結果というアプローチをするか、アプローチの結果どのような変化、変容があったのかまでいくのが大変と感じている。面倒なことはその専門家に丸投げの発想が学校内にあるのを変えていく必要がある。
- ・合理的配慮を必要とする子の調査を、子どもたちへのアンケートを取る時に入れたいと思えました。
- ・最後に説明のあった「合理的配慮のためのアセスメント」が特に印象に残りました。あまり小学校では、申し出による対応を意識してこなかったと思い、小学校高学年程度から本人からの申し出があれば、対応できるのではないかと思った。さっそく学級で取り組んでみようかと思った。
- ・自分が今の学校で、どのようなアセスメントができるのか考えることができよかったです。実際にやってみたいと思った。

2. 来年度の研修の持ち方や講師についてのご希望がございましたら、お聞かせください。

- ・実物の調査票が見れたので、大変参考になりました。
- ・また次回来たいです。
- ・研修が「アセスメント」だけではなく、「方法論」「二次支援」とカテゴリーがあって、とても勉強になるものだと思います。
- ・今回のように、学校現場の先生のニーズにあった研修をやっていただきたい。ただ、必要な人ほど、このような研修を受けようとならないのが残念である。
- ・支援の仕方をもっと知りたいと思えます。

3. その他事務局へのご意見、ご希望がございましたらお書きください。

- ・いつもご配慮いただき、感謝しています。
- ・準備、連絡、お疲れ様でした。